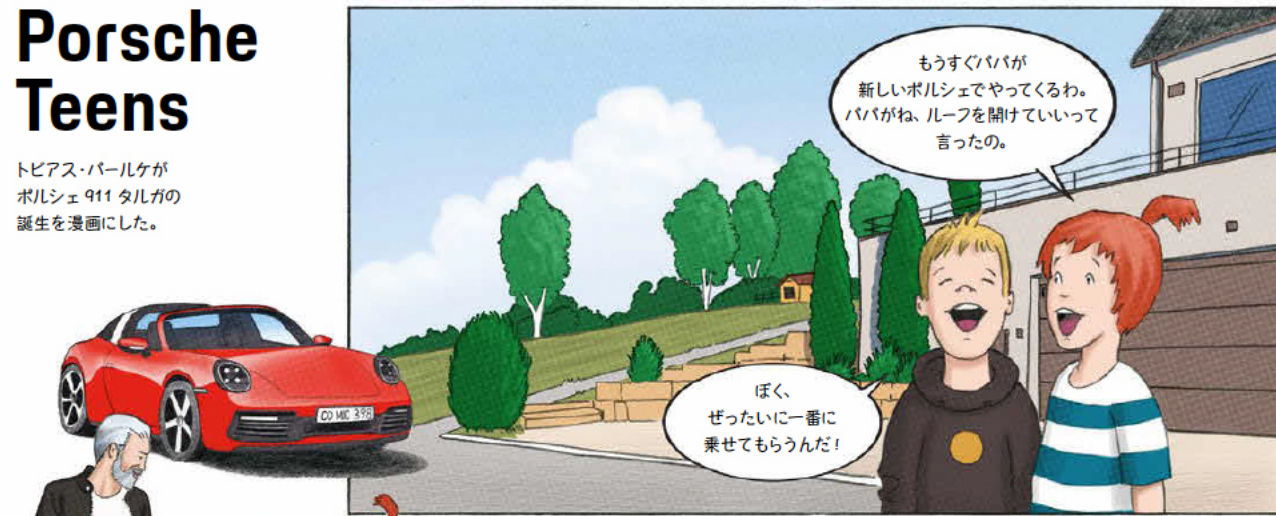


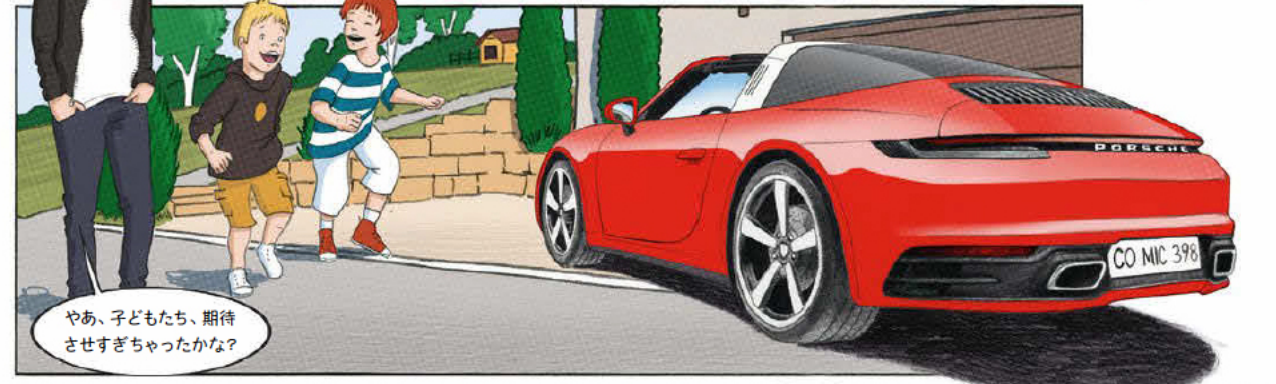
Porsche Teens

トビアス・パールケが
ポルシェ 911 タルガの
誕生を漫画にした。



ぼく、
ぜったいに一番に
乗せてもらうんだ!

もうすぐパパが
新しいポルシェでやってくるわ。
パパがね、ルーフを開けていって
言ったの。

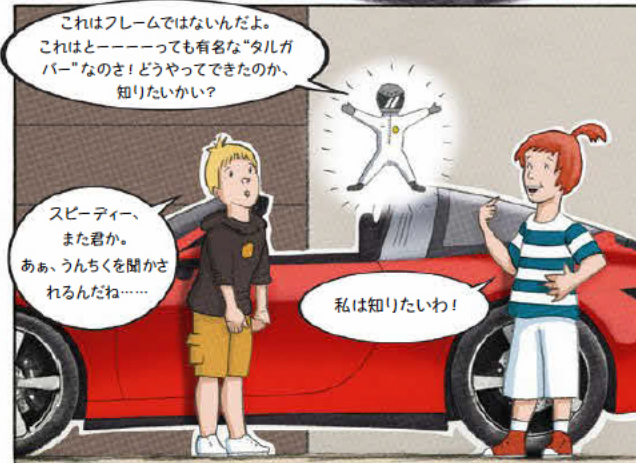


やあ、子どもたち、期待
させすぎちゃったかな?



うわああああ、カッコ
いい! 乗ってもいい?

一体、どうして
カブリオシには、ここに、
こんなフレームが
あるの?



これはフレームではないだよ。
これはとーも有名な“タルガ
バー”なのさ! どうやってできたのか、
知りたいかい?

スピーディー、
また君か。
ああ、うんちくを聞か
されるんだね……

私は知りたいわ!



その歴史は、君らの
パパが生まれた頃に通る。



1960年代、ルーフが開くカブリオシは
アメリカですべても人気があったんだ。だけど、当局は
カブリオシを禁止にしようと考えていた。



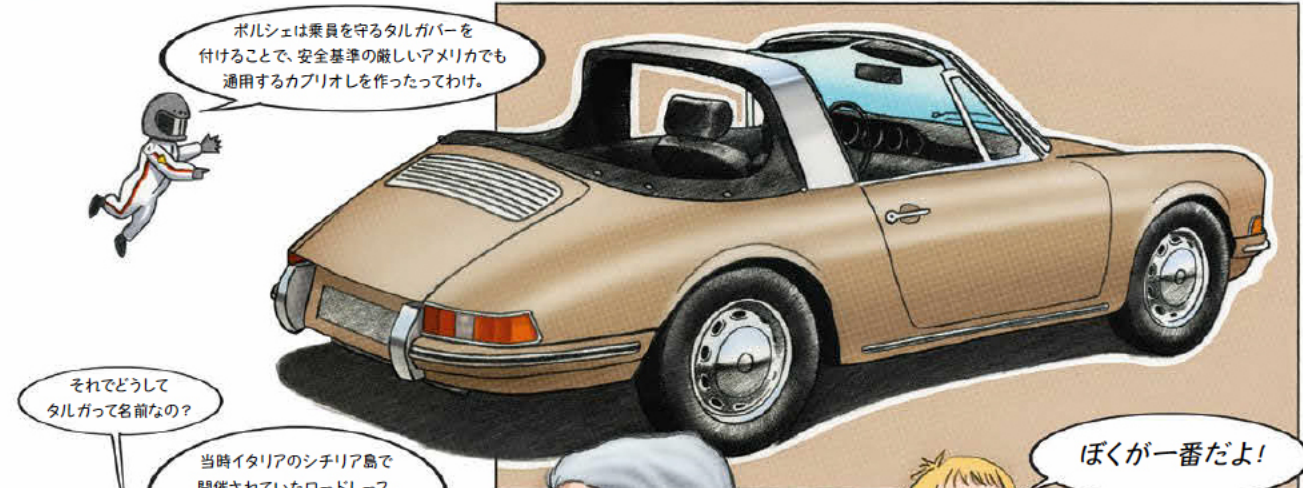
え? なんで?

なぜなら、当時のカブリオシには頭上に
保護機能がなくて、転倒したときに危険が生じる可能性が
あったからさ。今のカブリオシは当時と作りが違うし、
ずっと安全になったんだけどね。

だけど……
ポルシェにとって、どうして
それが大事なことだったの?
ポルシェはドイツ製
でしょ。

それで?

そのとおり。だけど、
ポルシェは当時すでにアメリカで
たくさん売られていたんだ。



ポルシェは乗員を守るタルガバーを
付けることで、安全基準の厳しいアメリカでも
通用するカブリオシを作ったってわけ。

それでどうして
タルガって名前なの?

当時イタリアのシチリア島で
開催されていたロードレース、
“タルガ・フローリオ”にちなんで
名づけられたのさ。

ぼくが一番だよ!



その通り。オープンポルシェが
そのレースで大活躍したんだ。
さあ、そろそろ行くか?



だいじょうぶ。全員一緒に乗れるよ。
エルファー同様、タルガも前と後に
それぞれ2座席あるから。



当初、ルーフは手で取り外さなければならなかったんだ。そのあと、
大部分にガラスを使用することで、問題を解決した。2014年以降、タルガはほぼ初期の
スタイルに戻ったけど、完全自動でルーフを開け閉めできるようになったんだ。

VROAAA!!!

ポルシェ911タルガモデル
燃料消費量 総合: 11.1 ~ 10.4リッター/100km
CO₂ 排出量 総合: 263 ~ 236g/km

ありがとう、もう
いいよ、スピーディー!
今はドライブを
楽しみたい!